



パンフレット No. MA293
2013年1月 作成
工 業 用

浴中柔軟剤・スカム防止剤

アンチクリスナー 201S

(ANTICREASNER 201S)

各種編織物の精練・染色においてはシワの移動不良によって起こる不均染やスレ、当たり等に起因するトラブルが起りやすく、その解消が求められています。

アンチクリスナー201Sは、浴中(精練、染色、フィックス処理浴)において被処理物に平滑性を与え、シワ、スレ、当たりおよびこれらに起因する各種トラブルを防止します。

また、液流染色機を用いたウールの染色加工において、合成タンニン系フィックス剤(単独またはケイフッ化水素酸との併用)処理により、スカムの発生、粉吹き(スペック)等のトラブルが生じることがあります。アンチクリスナー201Sは、これらのトラブルの解消にも効果を発揮します。

性 質 ・ 性 状

外 観	淡黄色エマルジョン
成 分	アニオン界面活性剤 等
イ オ ン 性	アニオン
pH	約8.0 (5%水溶液)
溶 解 性	水に可溶 (上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません)

特 徴

1. 綿、レーヨン、ウール、ナイロン、ポリエステルなどの精練・染色に幅広く使用できます。
2. 常圧染色だけでなく高压染色(130℃)においても、使用できます。
3. 耐アルカリ性(苛性ソーダ 10g/L)、耐塩性(芒硝 80g/L)にも優れています。
4. 泡によるトラブルの少ない低起泡性の薬剤です。
5. 浴中柔軟効果だけでなく、各種染料に対して“均染効果”を発揮します。
6. 染料の染着性、被染物の色相に悪影響を与えません。
7. 合成タンニン系フィックス剤処理時に発生する粉吹き(スペック)を防止します。



使 用 方 法

被染物の種類・形態、処理法により異なりますが、一般的には1～3 g/Lです。
処理浴に、あらかじめ3～5倍に希釈しておいたアンチクリスナー201Sを加え、
5～10分間浸漬した後、所定量の染料、薬品等を順次投入して下さい。

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

17 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行なって下さい。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「安全データシート（SDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。